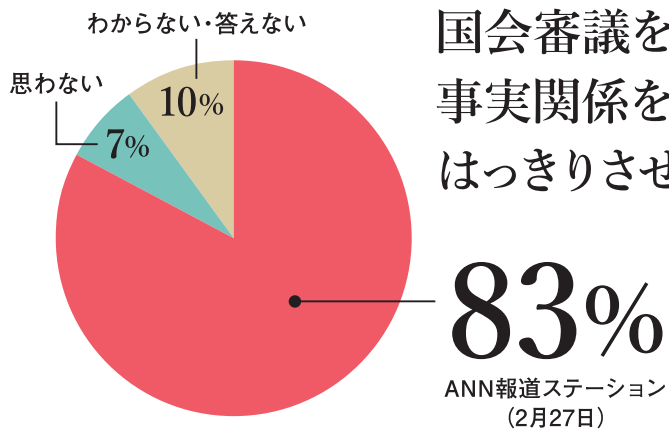
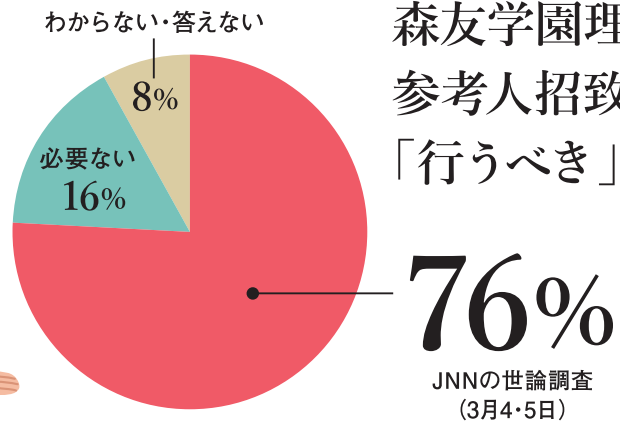


森友学園問題3つの疑惑



国会審議を通じて
事実関係を
はっきりさせよ



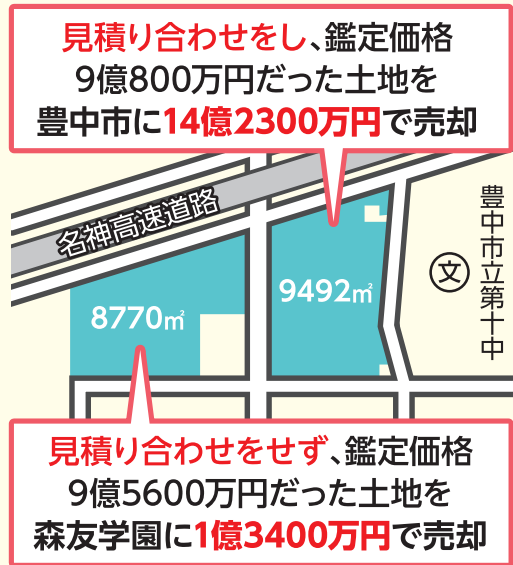
森友学園理事長らの
参考人招致
「行うべき」



豊中市には、14億2300万円で売却 森友学園には、1億3400万円とは!?

国民の大切な財産を、なぜタダ同然で森友学園に? ほぼ同じ大きさの隣の国有地を豊中市には14億円で売っているのに? —みんな不思議に思い、解明を求め

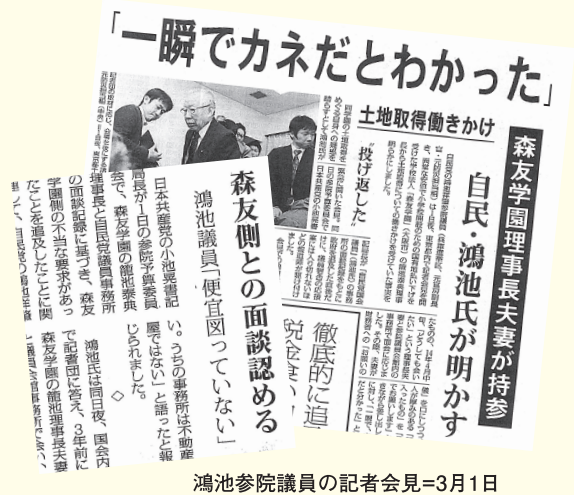
ています。だから“国会で事実関係をはっきりさせよ”が、世論調査でも圧倒的多数となっているのです。



鴻池祥肇参院議員に働きかけしていた。 別の政治家の関与は!?

日本共産党の追及で①森友学園の籠池理事長が自民党の鴻池祥肇参院議員に国有地の値引きを働きかけていた②鴻池議員は口利きを拒否した③土地売買は籠池理事長のシナリオ通りになったことが明らかになりました。この3つの

事実から鴻池議員とは別の政治家の関与があったということはハッキリしました。ところが安倍首相は、調査を拒否し続けています。日本共産党は、徹底解明に全力あげます。力をあわせ解明しましょう。



幼稚園児に「安倍首相ガンバレ」唱和させる!? 持ち上げていた安倍夫妻に道義的責任あり

森友学園が運営する塚本幼稚園は「いざとなれば天皇のために命を捧げよ」という戦前の「教育勅語」を幼稚園で丸覚えさせ、運動会で園児に「安倍首相がんばれ。安保法制、国会通過よかったです」と選手宣誓させています。テレビで放映されたその映像に、世間が驚愕し、「背筋が寒くなる」「教育基本法をふみにじ

るもの」など批判の声が噴出しています。松野博一文科相は「教育勅語を教育の源泉として扱うことは適切でない」と日本共産党の宮本岳志衆院議員に答弁しています。ところが森友学園は、今なお「教育勅語素読・解釈による日本人精神の育成」を全教科の要とする、としています。

